

7月21日 例会 クラブ協議会 クラブ奉仕委員長 田島修

「ロータリーは機会の扉を開く」 みなさんは、今年度、ロータリー活動をと
おして、どのような機会や活動に恵まれるでしょうか？

クラブ奉仕委員会委員長を 仰せつかりました、田島です。

クラブ奉仕委員長とは、どのような職務なのか、職務を確認するため改めて、活
動計画書に掲載されているクラブ細則を確認しました。少し、読み上げてみます。

「クラブ奉仕の諸活動全部に対して責任を持ち、かつクラブ奉仕の各特定分野
について設置されたあらゆる委員会の仕事を監督、調整する任務をもつもの
とする」

また「この委員会は、本クラブの会員が、クラブ奉仕に関する事柄において、
その諸責務を遂行するうえに役立つ指導と援助を与えるような方策を考案しこ
れを実施するものとする。クラブ奉仕委員会委員長は委員会の定例会合に責任
をもち、クラブ奉仕の全活動について理事会に報告するものとする。」とあり、
かなり責任の重い委員会であることに、身が引き締まる思いです。

今年度、根本会長・大矢幹事のもと、クラブ奉仕委員長として、各委員会と連
携して、クラブ活動を充実したものにしていきたいと思えます。

昨年度の地区大会 1 日目で「ロータリーのビジョン生命と新しい戦略計画」
というテーマで北清治 RI 会長代理のお話があり、また、インターシティミーテ
ィングでは「戦略計画委員会と会員増強委員会の必要性」というテーマで、2019-
2022 年度第一地域菅原ロータリーコーディネータからお話があり、共通されて

いた話題が「戦略計画委員会」でした。また、ホルガー・クナーク国際ロータリー会長は、冒頭の「ロータリーは機会の扉を開く」を今年度のテーマに掲げ、世界中のロータリークラブで、クラブの3年後、5年後はどうであろうか、どうでありたいかをクラブ内で議論してほしいと強くおっしゃっています。

5年後のクラブのあるべき姿を思い描き、優先事項を決め、今何をすべきかを検討し、委員会として引き継いでいくことの必要性を説いておられました。当クラブでも、昨年度の理事会で、今年度 長期計画戦略準備委員会を設置することが承認され、武田委員長とはじめ、会長経験者である、田仲正道会員、宮寺パスト会長、三好国際奉仕委員長と根本現会長、会長エレクトの私で委員を構成し、当クラブの中・長期の戦略を練るべく、次年度スタートに向けて準備を進めます。

皆様と共に、話し合い重ねながら、クラブの進むべき新たな機会の扉を開きましょう。

今年度一年、よろしくお願いいたします。